

リベラ (Libella) はラテン語でトンボの意味です。あおぞら財団はトンボが飛び交うまちの再生を願って活動しています。

2012.4

124

号

りべら

特集：大都会で考えよう 私たちと自然と生きもののつながり…1

～『生物多様性の愛知目標達成のために私達ができる100の提案づくりワークショップ』～

つながろう なくそう公害～日中環境NGO交流…3

市民が環境を守りよくするためのオーフス条約って知ってる?…5

岩手県遠野からの便り…6

カマタ商店の“今日も店主は一人で善がる”…6

みんなで守る! みんなで助かる! 西淀川の防災まちづくりを考える…7

ー西淀川交通まちづくりプロジェクトの2011年度の取り組みー

ぶらりとゆるりと西淀川めぐり 西淀川おいしいカレー巡り…8

忙中一筆 松富謙一…9

あおぞら広場…10

食から生き物とのつながりを考える

ワークショップのお昼は大阪近郊の農産物でできたオーガニックな里山弁当と淀川産のシジミ汁を食べました。^{※3}食糧自給率2%の大阪で、大阪産のおいしいごはんを食べて大阪の農業漁業を考えてみます。またスーパーの商品を「生物」という視点でみれば、世界の環境問題とつながります。産地情報から天然物、無農薬など世界中の生物の育った環境が見えてきます。みなさんもやってみては？

^{※3} 里山弁当はカフェスロー大阪さん、シジミは大阪市漁協さんから調達しました。



大野川緑陰道路の昔



埋め立て前の大野川はとても汚れていました
(出典:西淀川今昔写真集—西淀川区制70周年記念—)



現在は緑の多い自転車歩行者専用道になっています

大野川緑陰道路

あおぞら財団

特集

大都会で考えよう

私たちと自然と

生きもののつながり

生物多様性の愛知目標達成のために私達ができる100の提案づくりワークショップ^{※1}

地球上の生きものはバラエティに富んでいます。そうした生きものが生きる環境やつながりのことをまとめて『生物多様性』と言います。今、その生物多様性が急速に失われています。2010年10月に名古屋で行われた国際会議^{※2}で、「自然と共生する」世界を実現するための「愛知目標」がつけられました。

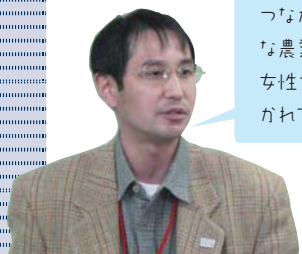
12月10日、11日に生物多様性ワークショップを開催し、様々な角度から生物多様性について学び、私たちができることを考えました。大阪のような大都市に住む私たちに、何ができるのでしょうか？

大阪・西淀川で考えられる生物多様性について紹介します。

淀川

もっと詳しく知りたい人は

愛知目標には、食品や薬品など私たちの生活につながることで、漁業資源の管理、持続可能な農業、作物や家畜の多様性、人の健康や福利、女性や弱者への考慮、食品や薬局などについて書かれています。ぜひ読んでみてください。



ワークショップの講師で、生物多様性に関する活動をしている長野義春さん
(越前市エコビレッジ交流センター)

愛知目標「地球に生きる生命の条約～生物多様性条約(IUCN-J)」

http://www.iucn.jp/images/stories/cbd/pdf/cbd_booklet.pdf

^{※1} 主催:環境再生保全機構 企画運営:あおぞら財団

^{※2} 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)

写真提供:橋本正弘さん

守りたい、西淀川の自然

西淀川区には緑に覆われた大野川緑陰道路や、大阪湾につながる淀川や神崎川などの河辺、干潟があり、実は変化に富んだ地形です。公害の被害が深刻だった時には見られなかった、野鳥や魚など様々な生き物を観察できます。



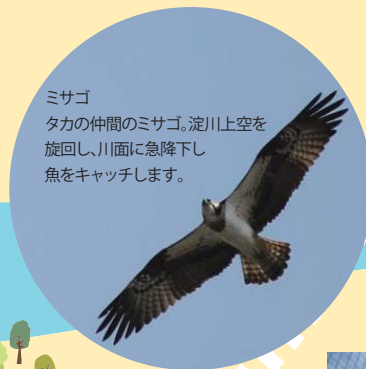
福漁港では高級シジミが獲れます

大阪湾



ツグミ
果実や昆虫を食べます。
大野川緑陰道路や堤防で
見られます。

季節に応じて様々な野鳥が見えます



ミサゴ
タカの仲間のミサゴ。淀川上空を
旋回し、川面に急降下し
魚をキャッチします。

中島川

西淀川区を代表する緑地、大野川緑陰道路(全長3.7km)は、住民の努力の歴史が刻まれています。もともとは『大野川』と『中島大水道』という2本の流路でした。中島大水道は、江戸時代の農民が掘った農業用の排水路です。今の東淀川区の淡路を起点に大阪湾に抜けていました(全長9.5km)。高度経済成長期に入ると、川を埋立てて、自動車の道路にすると計画されましたが、大気汚染に苦しむ住民の反対運動があり、今の自転車歩行者専用の大野川緑陰道路になったのです。

神崎川

矢倉海岸と
矢倉緑地



鳥の目線で見たらこんな感じなのでしょうか？



大都会で自然をつくる

大阪梅田のランドマーク、梅田スカイビル。足元には『新・里山』と名付けられた田畑や林があります。200種類の植物が植えられ様々な生き物が集まり、ハイタカの飛来も確認できたとか。だれでも自由に入ることができ、オフィスワーカーや子供たちの自然体験の場にも使われています。都市に里山を作って生きものを呼び戻すことができるんですね。ビルの上からは、鳥の視線でみる風景が広がります。眼下に広がる市街地にはどんな生きものが棲んでいるのでしょうか。「埋めて田をつくった」から「梅田」と名がついたという説もあるように、かつては田畑が広がり、もっと多くの生物が棲んでいたことに思いを巡らせることも大切です。西淀川も昔は農漁村でした。そんな風景の名残を見つけられますか？



水辺や田畑、林…大都会に自然がつくられています



自然之友(李波氏(右) 常成氏(左))

訪問先1 自然之友

自然之友の活動内容と、中国区内での重金属問題への対応やGCA活動※1などについてお伺いしました。例えば、中国の環境NGOが撮影した「武漢の汚濁状況(日系企業の事例)」の動画を見せて頂き、中国でのサプライチェーンの構造について説明して頂きました。

訪問先2 达尔问自然求知社
団体名は、中国語で「ダーアル

ウェン」と読みます。ダーウィンを学習して、様々な疑問を、様々な領域から解決できるようなという願いが込められています。2009年に設立され、自然大学、測定センター、調査センターの3つの組織を持ち、調査測定データをもとに観察会や勉強会などを行い、一般市民に自然環境に関心を持ってもらうための活動や汚染現場調査従業員に対する安全指導などを行なっています。

汚濁河川「北小河」視察

北京市内の北にある北小河を、環境NGO「護河使者」の張峻峰氏に案内してもらいました。

北小河は、典型的な河川汚濁の特徴がみられる河川です。北京の中心部(第五環状道

あおぞら財団では中国の公害問題に現地の環境NGOと一緒に取り組んでいます。国を超えて協力することで、解決へ向けて活動を広げています。

自然之友 <http://www.fon.org.cn/> 达尔问自然求知社 www.bjep.org.cn

あおぞら財団が中国の環境NGOとの交流と汚染地域の視察を目的に、北京を訪問した時の様子を紹介します。

中国・北京訪問記

2011年10月24日(月)～10月27日(木)



建ち並ぶ高層マンションの間を流れる北小河

※1 Green Choice Alliance(GCA)

GCAは、自然の友、公衆環境研究センター(IPE)、達爾問自然求知社、環友科学技術センター、南京緑石の5団体を中心とした中国の41の環境NGOによる緩やかなネットワーク運動。サプライチェーンにおける環境管理の促進を目指して汚染企業と交渉しています。

路内)には工場はありません。中心部の水質汚染の原因は生活排水です。約20万人のコミ



达尔问自然求知社(王秋霞女士、刘慧莉女士、邵文杰氏(左より))

ニティの人口増加に伴って、6割程度しか処理できず、残りは沈殿処理のみで放流されるため、河川に強烈な二オイが漂います。一方、北京郊外は工場排水の汚染を抱える地域が多く、工場用に大量の地下水を取水することにより、地盤沈下も大変深刻な問題となっています。今回の訪問で、日中で協力することで解決できることがたくさんあることを改めて確認できました。

藤

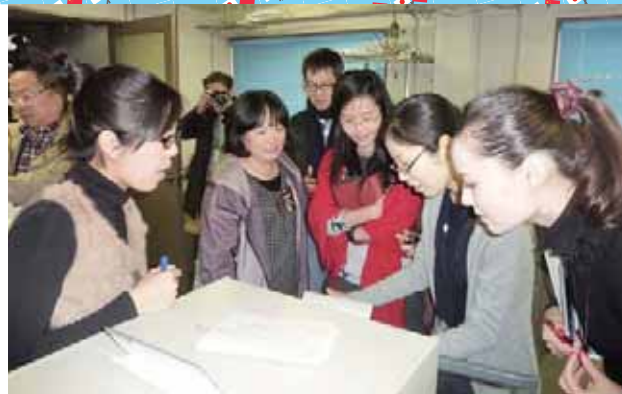
いろいろな国の方々があおぞら財団で公害反対運動について学んでいます。1〜2時間程度の研修がほとんどでした。狭い会議室で映像を見て語り、通訳が入る状況でどれだけの事が伝わっているのか、毎回消化不良な思いを抱えています。そんなところ、中国環境NGOのメンバーを長期で迎えることになったのです。



二酸化窒素簡易カプセル測定も体験

【メンバー】

- | | |
|-----|--|
| 李 力 | 環友科学技術 |
| 曾祥斌 | 自然之友武漢グループ担当者(弁護士) |
| 楊建初 | 広東道恒環境保護協会 (記者) |
| 李春華 | 南京緑石環境行動ネットワーク |
| 王林生 | 河南沈丘 農民(汚染被害者) |
| 郭懷亮 | 一線NGOのホーム 深圳Workstation担当者
(会社業務担当マネージャー) |
| 李 彤 | 北京城乡之声文化艺术中心 |
| 王 虹 | 山東省淄博市張店児童発展研修中心 |



大阪府環境農林水産総合研究所にて大気汚染物質測定機器のしくみを教えてもらう

まあ、公害に関連する様々な立場の人たちのお話を伺うことにしました。公害被害者の話はもちろん、関西電力や大阪府、環境教育を実施している保育所など、いろいろな場所を訪問するハードスケジュールだったのですが、中国の方々はパワフルで、日本側が答えに詰まることもしばしばありました。対話をするなかで、環境対策や市民意識や制度の違い

つながろう なくそう公害

日中環境NGO交流

中国環境NGO来日

2011年12月1日(木)〜12月5日(月)

中国環境NGOの活動について知りたい方はこちら
日中韓環境情報サイトENVIROASIA (URL)

http://www.enviroasia.info/news/news_mlist.php3/J/5/



いが見えてきて、インターネットで情報をやり取りするのが便利になったとしても、生身の人間のやり取りで見えること、信頼が生まれることを実感したのでした。

また、日中生セミナー(12月3日)にて、中国環境NGOが活動を報告しました。



国交省から裁判和解後の43号線の大気汚染対策を聞く



iPhoneを片手にAppleの汚染を訴える李力氏

見て、この熱意が社会を変える原動力になるのだと納得しました。これからもNGOが手をつなぎ、市民力を高めて地球環境を良くしていきたいと思えます。

林



市民が環境を守り よくするための オーフス条約って知ってる？

オーフス条約※1という言葉を目にしたことがありますか？

※2の市民参加の条項を受けてつくられた、環境分野の市民参加を進めるための条約です。ヨーロッパを中心に45カ国が批准※3していますが、日本は批准していません。現在オーフス条約を通じて日本で環境分野の市民参加を広げるための「グリーンアクセス・プロジェクト」を大阪大学の久保規子教授が中心となり進めており、あおぞら財団も参加しています。ここではこの条約で守られる3つの市民の権利を紹介します。

オーフス条約では①環境情報へのアクセス②政策決定への参加③環境法違反の是非を問うの3つの権利が守られます。

①環境情報へのアクセス

情報公開の請求は、参加の前提となる権利です。日本でも情報公開法が制定され、情報公開の流れが進んできましたが、委託先の企業情報や政策決定の過程の情報は公開されないケースも多く見られます。一方もう一歩踏み込んでオ-

ーフス条約では行政だけでなく、電気、鉄道など環境に関わる一定の公益事業者に対しても情報公開を義務づけられています。

②政策決定への参加

次に大切なのは、事業や政策の意思決定に市民が参画する権利です。近年、日本でも政策や計画の策定の際に市民からの意見公募がされます。

しかし、ある程度政策や計画が決まった段階での意見公募は、真に政策や計画の策定への市民参加の機会を保障しているとは言えません。その上日本では市民からの意見を政策や計画に反映させるかどうかについて、明確にされていない場合がほとんどです。その点オーフス条約では市民参加が明文化されており、参加手続が不十分だと判断されると、そこから得られた結論は法的に認められないものになります。

③環境法違反の是非を問う

最後に十分な情報公開、政策決定への参加を経て、それでも市民がその政策や計画について納得いかない場合、訴訟やオンブズマンや不服申立てなどを通じて、違法行為を是正することができると権利です。それにより訴訟の前に市民と話し合いがなされ、紛争を未然に防ぐことができます。

市民が環境を守る

東日本大震災を契機に脱原発の動きが社会で起こっていますが、「情報提供」「計画決定への参加」「事業について司法の判断を仰ぐ」の3原則が適用さ



沖縄にある泡瀬の干潟の埋立を住民が守る

る調査を行っています。そこから自治体によって差があることが見えてきました。結果はホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

オーフス条約は、さまざまなNGOが参加して策定されました。海外では、リオ+20に向け、この条約を広め環境民主主義を強化しようという動きが活発化しています。日本からも、賛同のメッセージを送りませんか。

大阪大学大学院法学研究科教授久保規子さんより

グリーンアクセスプロジェクトサイト <http://greenaccess.law.osaka-u.ac.jp/>

※1 正式名称は「環境問題における情報へのアクセス、意思決定への市民参加及び司法へのアクセスに関する条約」1998年デンマークのオーフスで採択

※2 1992年ブラジルのリオデジャネイロで開催された「地球サミット」で合意された

※3 2011年11月欧州経済委員会発表

<http://www.tonotv.com/members/yamasatonet/>

岩手県は2月に入るとぐっと寒くなる。沿岸被災地は氷点下5度まで寒くなる。これは例年より寒い気温である。真冬の岩手は寒さが肌に刺すように痛い。

さて、最近、被災地では「がれき撤去が進んでいる」「仮設店舗の店街完成した」というニュースがメディアに流れるのが目につく。東北地方以外では報道が減っているとも聞く。そうすると、どことなく「被災地の状況も落ち着いたのかなと感じてしまう」と東京の友人に言われた。これも震災時からの「時の経過」のためだろう。しかし、緊急支援から長期的支援に取り組む段階である被災地にはどこか「復興」という希望の光に陰りが見える。その土地で暮らす人たちが、失くした日常を取り戻そうと復興に動き出す時、「失くした3月11日前の日常」と向き合うことになるためだろうか。悲慘な記憶に向き合う時間も増えるのだろう。



被災地でお話をした方々も似たようなことを言っていた。寒い冬は、体を動かすことが少なくなり、気分もうつむきがちになりやすい。季節が変わり、被災者の心持ちも変わりつつあるようだ。被災地の住居に訪問し必要な物資支援を行っている当法人。できることから「希望の光」を届ける活動を展開したい。

岩手県遠野からの
便り...③



「東北の季節と被災者の 気持ちの変わり目」

NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク事務局
田村 隆雅

あおぞら財団の東日本大震災支援活動(BDF車両「あおぞら号」の寄贈)を通じて、ご縁がつながった「遠野山・里・暮らしネットワーク」から、被災地の暮らしや風景をお伝えいただく連載コラムです。

第3回
テーマ

今日も店主は一人で善がる

大阪市
西淀川区にある手前
が雑貨屋、奥がカフェのカマ
タ商店店長です。自転車と写真、
そしてサザンオールスターズをこ
よなく(?)愛するいい人です。
【カマタ商店URL】
<http://www.kamatasyo-uten.com/>

こんにちは。西淀川の六等星、カマタ商店でございます。先日、喫茶部のカレーが地域機関紙の取材を受けましてね。これはアンタレスやベガに肩を並べるチャンス!と意気込んで仕上げたそのお味は、塩をふんだんに使った、白米とお冷やのありがたみを実感する血圧140mmHgオーバーのスペシャルカレー!取材時は「スイマセン、生卵ありますか?」や「お水ください」と嬉しい悲鳴が店内に響き、肝心の「美味しい」は掻き消されましたが、脱六等星へより一層の自信に繋がるひと時と相成りました。詳細はまた、別ページにて。



カマタヤスヒコ



やした古株達も溜まっていくのが常。

折角ですから、次号では宣伝と成仏を兼ね「雑貨部四周年記念・古株雑貨BEST3」をコチラ誌面で勝手に発表させていただきます。どうぞお付き合ってくださいませ。

さて、そんなカマタ商店。本業は雑貨屋でございます。プレゼントにピッタリなあげて嬉しいもらって嬉しい、そんな色んな国のちよいと使える小道具なんかを集めております。

おかげさまで創業四年目。品揃えが増え、お客様に喜ばれて旅立つ雑貨もあれば、なかなか売れず棚に根を生



みんなで守る! みんなで助かる! 西淀川の防災まちづくりを考える

—西淀川交通まちづくりプロジェクトの2011年度の取り組み—

現在、東日本大震災を受けて、災害発生時の避難に対する危機感が強まっています。そこで、2011年度の西淀川交通まちづくりプロジェクトでは、「防災まちづくり」に取り組みました。このプロジェクトは、2010年度から区民の有志のみなさまと共に継続して行っています。



こんな思いで活動してます! 参加者の「西淀川、こうなったらええねん」

西淀川ではどんな災害が起こるの?

災害について考えるヒントを得るために、2月11日(土)に関西大学の越山先生をお招きして講演会を行いました。

越山先生から「東南海・南海地震が起こった場合、西淀川区では、津波、大規模な停電、地盤の液状化、橋の通行止めによる物資の不足などが起こるだろう」とのお話がありました。また、「西淀川区には多くの工場があるため、災害時の工場の火災は木造密集住宅地以上に危険になるのではないか」との指摘や、「災害時には自助、共助が大事になる。人を救う力は相手のためだけでなく、自分を救う力になる」というお話もありました。

高齢者や障害者の避難を支援するために

話し合いでは、「高齢者、障害者、子どもを早く逃がしたい」という意見が出ました。また、障害者がある子どもと親の交流の場である「西淀川区おもちゃ図書館おもちゃ箱」にお話を聞き

にいったところ、「普段は車いすに子どもを乗せて移動しているが、エレベーターが止まると子どもを抱えて階段を下りないといけない。本人は肩に手を回すこともできないため、災害時には手助けがほしい」という声がありました。

そこで、高齢者や障害者の避難の支援について学ぶために、2月27日に防災用品の開発者をお招きして実習を行いました。この実習では、布製の担架やおんぶひもを使用しました。この実習を通して、

訓練に慣れることの大事さ、適切な防災用品があれば一般の人でも要援護者を支援することができるとをみんなで実感しました。

災害について一人一人が考えていくために

災害時には行政の力よりも、市民一人一人の力が大事に



布製の担架は、棒担架と違って小回りがきき、上下移動しやすいため、一般の人でも使えます。

なります。そこで、市民が防災について考えるきっかけづくりのために、にしろどがわ防災まちづくり通信を発行することになりました。この通信では、専門家の越山先生のお話、乳幼児や障害児のお母さんの災害に対する声、防災に対して先進的に取り組んでいる地域の動きなどをまとめています。この通信は、西淀川区内の様々な施設に置かせていただく予定です。読みたい方はあおぞら財団までご連絡ください。



カマタ商店

所 西淀川区千舟2-2-4

休 月曜

営 11:00~21:00

☎ 06-6472-7006

HP <http://www.kamatasyouten.com/>



鎌田千都子さん

カマタのカレーに
リピーター増殖中!

カマタ商店

おしゃれな雑貨屋の奥にあるカフェスペースで出しているカレー。挽肉とパプリカ、キノコ、タマネギ、ニンジンなど野菜が細かくきざみ入れられていて具たくさん。スパイスを取り寄せて、辛さの中にも甘みを感じるこだわりの一品です。カレーに添えられたオニオンフライとパセリの風味が効いています。添えられるサラダやスープもうまい!



EVER'S(エバース)

所 西淀川区柏里3-12-11

休 不定休

営 18:00~翌3:00

☎ 06-6471-2285

手羽元が入って
コクまろやか



(左)いりなちゃん(右)ゆみちゃん

EVER'S(エバース)

塚本駅周辺の飲み屋が建ち並ぶ通りの一角にあるバー「EVER'S」。店に入ると看板犬(?)のカールクンがお出迎え。肝心のカレーは手羽元が入り、カレーにミルクが少ししかかっている出で立ち。まろやかでコクがあり、とがっていない辛さが絶妙です。他にもハンバーグやドリアなどもおいしいです!

burari

gururi

ぶらりとぐるりと 西淀川めぐり



あおぞらスタッフが街に繰り出して体当たり取材。
「西淀川はカレーもイケてる」の情報を元に行ってきたカレー巡り。
三店三様のカレーの味は、どれも奥が深くまた行きたくまりました。

(イラスト:とりやまひろこ)



チーズナンもバトゥーラも
もうクセになる程のおいしさ!

JAMUNA(ジャムナ)

所 西淀川区歌島2-4-40

ルネッサンス塚本1階

休 なし

営 11:00~14:30 17:00~23:00

☎ 06-6475-5525



カレーに合うビールも
やっぱりインド産です



JAMUNA(ジャムナ)

インド料理屋のJUMUNA。メニューにはたくさんの種類のカレーが!今回は店員さんおすすめのサグ・チキン(ほうれん草とチキンのカレー)とチキン・ド・ピアザ(オニオン入りのコクのあるカレー)をチョイスしました。インドのカレーは辛いのかと思いきや、野菜のうまみが出た甘みのあるカレーでした。チーズナンとバトゥーラというナンを揚げたものがカレーによく合います!



(右)サブコタ・ビム・ラムさん(左)カンデル・ガンガ・ダハールさん

忙中 一筆

グリーンな西淀川で グリーンな住宅づくり。

あおぞら財団とつながりある人からエッセイを寄せてもらっています。
住民の話を聞きながら建築の設計やまちづくりに取り組む松富謙一さんです。



松富 謙一(まつとみ けんいち)

CASE/まちづくり研究所。古い長屋の活用や、個別では解決できない住宅づくりを周辺と協働することで達成するなどアイデアづくりから、地域のまちづくり活動の支援や人まち建物の関係性に配慮した建築設計を行う。

CACE/まちづくり研究所 <http://www.case-jp.com/>

ぼくのイメージの西淀川。

煙をもくもく上げた工場や国道2号、43号で車の行き来が多く、澱んだ空気に包まれた町。西淀川区の隣、淀川区三国で昭和42年に生まれた僕のこの地の今までのイメージです。あおぞらイコバのデザインのお手伝いを機会にこの街の歩ん

きた歴史や街の事情を知ることになりました。公害との闘いの歴史もさることながら、商店街、神社、緑陰道路、長屋あり、軒先園芸あり路地あり猫あり、ちやりのおばあちゃんありの庶民的でありながら豊かな街の表情に驚かされています。

グリーンな住宅環境を考えよう。

このイコバが出来上がった後から西淀川のまちのことを知り新たな環境と人との繋がりが豊かな住まいを創り出そうとGreen研究会を始めています。研究会とはいささか大層なネーミングですが、休みの昼間にみんなで街をそぞろ歩くことを皮切りに、少し街のことを考えています。今まで当たり

前に見えていた風景に少し

テーマを持つて歩くことで、地域の持つている良さを新たな

魅力として発見することが出

来ます。時には土砂降りの雨の

日に歩いた日もありましたが、

その日のリアルなまちが見え

てきて、日頃西淀川にいない僕

には気づくことが多く、そして

面白味も発見できるものです。

ちょっと真面目な木の勉強会

にも取り組んでいます。マン

ションを除いた住宅のほとん

どが木造でつくられています

が、昔の家のように木肌をみせ

た住宅が最近見ることが少な

くなりました。研究会では肌感

覚に優しく環境のことを考え、

思っています。そんな住宅事情の背景も織り交ぜながら木の勉強会をしています。日本の山が危機であると昨今良く聞かれる話です。しかし環境資源的にはなにも日本に限っての話ではないはず。そこで奈良吉野の山の事情と、外材としての北米材の事情を学び意見交換をしています。環境の問題を通して日本の山を救うために世界の木材需要にも目を向けることが大事なんだと気づかれました。

みどりをつなぐ。グリーンな住宅をつくる。

イコバのデザインはGreenプロジェクトに併せて緑化看板として進行中です。先日、壁面を

緑で覆ってしま

おうと緑化の下

準備として鉄柵

をしつらえまし

た。ヘデラやツキ

ヌキニンドウ、カ

ロライナジャス

ミン等のつた系

植物を植えました。

た。大野川緑陰道路に呼応する

ように、そして緑が連続をして

イコバに人が憩い、潤いある空

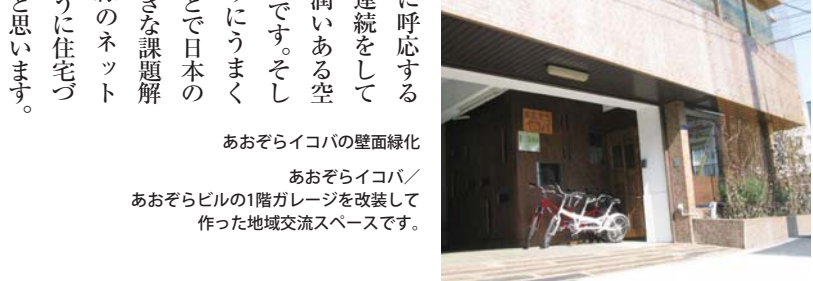
間になるのも楽しみです。そし

て、つた植物のようにうまく

ネットワークすることで日本の

山の事情と同様に大きな課題解

決に向かいまた、緑のネット



あおぞらイコバの壁面緑化

あおぞらイコバ/
あおぞらビルの1階ガレージを改装して
作った地域交流スペースです。



ありがとうございます

(2011年11月～2012年1月 敬称略・順不同)

●入会

小平 清子
北九州市公害患者と家族の会
櫻井 次郎

●寄附・寄贈者

西淀川公害患者と家族の会
大橋 孝子
新婦人の会東住吉支部
西宮 洋
長野 義春
功刀 恵美子
松村 暢彦
蔵本 幸治
西口 勲
酒井 健一
柏原 純夫
宮本 憲一
澤井 余志郎
早川 光俊
小林 俊康
庄谷 邦幸
(株)櫻野
森本 米紀

水俣協立病院
村松 昭夫
福本 富男
吉田運送
西村 弘
森山 正和
新田 保次
井奥 圭介
新井 真
檜谷 美恵子
山崎 圭一
遠地 昭典
宮本 由貴
川崎 美栄子
神戸製鋼所
林 久和
植田 和弘
鷺坂 長美
津留崎 直美
佐々木 正顕
水島地域環境再生財団
大久保 規子
安本 史恵

●お助けボランティア

浅井 真二
天谷 純
大野 みさ子
蒲原 ヨシ子
小寺 伸幸
貞方 雅則
左成 志朗
曾我 翔磨
野中 趙明
水島 仁美
南 聡一郎
村田 真琴
山本 元



読者の声

永野 千代子さん

西淀川公害患者と家族の会

以前のリベラは字が多く、知り合いが出て
いる記事や自分に関係する記事以外は、あまり読む気がしませんでした。リニューアルしてから、紙面が見やすくなったと感じています。西淀川に住む人の立場で言えば、区内のニュースや行事のお知らせのコーナーなんかが、たまにはあってもいいなあと思います。

増本 美江さん

西淀川公害患者と家族の会

内容が読みやすいものになって、親しみやすくなったと感じます。特にお店紹介のページがとてもおもしろく、知り合いの似顔絵がよく似ていたので、「おお」となりました。知らないお店の情報を得て「今度行ってみようかな」なんて思えるので、このコーナーが好きです。他にも、スイーツがおいしいお店や、イケメンの店員さんがあるお店なんかも紹介してもらいたいです。



西淀川菜の花プロジェクト

～エコでつながる西淀川～



【廃油回収量】

総合計7,133ℓ

(2009年7月から2012年1月迄)

大阪府立西淀川高校等の
教育関係施設や佃連合振
興町会等、地域での廃油
の回収をすすめています。



緑道散歩

西淀川区内を貫く全長3.8kmの大野川緑陰道路。
区民にこいの緑道の風景を紹介します。

青色の自転車道をいろいろの緑道のサザンカ。花期の長いサザンカは、冬の緑道散歩を楽しませてくれます。西淀川区の花でもあるサザンカ。花の少ない季節に咲き、寒さにまけない強さを持つ花ということから選ばれたとか。サザンカが終わる頃、ウメにモクレン、サクラへと花のリレーは続き、季節は春へ。



読者の声募集

会員のみなさまの日ごろの活動や、アピールしたい事、またはあおぞら財団へのご意見や、リベラのご感想、あふれる西淀川愛など、多種多彩な原稿を寄せていただければと思います。文字数は200字です。原稿は、表題を「会員コーナー投稿」としてE-mail (webmaster@aozora.or.jp) またはFAX (06-6478-5885) でお送りください。皆さまのご参加をお待ちしております。

りべら

No.124 2012年4月号(季刊1日、年4回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)

編集人:相澤翔平・林美帆

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階

TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885

http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp

デザイン:(株)バード・デザインハウス

定価:一部400円(郵送料込)

会員の購読料は会費に含まれています。

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

あおぞら財団
Facebookページ
「いいね!」を
押してくださいね。



あおぞら財団
The Aozora Foundation
公益財団法人 公害地域再生センター



スタッフツイッター 編集後記



大阪にきて「相澤」という名字が「おしゃれ」と2回言われました。でも山梨では一般的なんです。大阪だとおしゃれに見えるのかなあ。



最近の私は「石橋をたたかずにズンズン進む」。構造も使い方もわからずにFacebook登録し、「面白いから!」と周囲を巻き込み、現在は職員全員が発信することに…その甲斐あってあおぞら財団HPの訪問者が5倍も増加!! やった!! (ちなみに、私のアイコン写真はサギ疑惑がかかるほどカワイイと評判です 笑)



祝

西淀川公害患者と家族の会40周年、おおぞら財団15周年、おおぞら苑5周年の記念式典（2011.12.4）



環境学習

空気の汚れしらべ
子どもたちが家の近くの
NO₂の濃度を調べました。
（2011.12.27）

おおぞらフォトギャラリー

おおぞら財団は「まちづくり」「資料館」「環境学習」「環境保健」「国際交流」の5分野で活動しています。ここでは活動の様子を写真でお伝えします。



お知らせ

●2012年大阪NO₂簡易測定（第7回ソラダス）

日時：5月17日（木）18:00～5月18日（金）18:00

場所：大阪府下全域

市民によるNO₂の簡易測定を大阪府下で一斉に行います。環境を守ることを市民自らの手でやろうという運動で誰でも気軽に参加できます。興味のある方はご連絡下さい。

こんなカプセルで簡単に測れます！



カプセル1個300円

●おおぞら財団会員のつどい2012 おおぞら活動 総選挙

日時：6月10日（日）13:30～15:30

場所：おおぞらビル3階グリーンルーム 参加費：無料

どなたでも、参加できます。事前におおぞら財団までお申し込み下さい。

【日本野鳥の会大阪支部との共催】

●矢倉海岸定例探鳥会

日時：5月5日（土）、6月2日（土）、7月7日（土）、9月1日（土）

毎月第一土曜日。9:30～12:30頃（現地解散）

集合：阪神なんば線「福」駅改札口

～世界で一つ、私だけのかわいいせっけんを作っちゃおう～

●てづくりせっけん教室

日時：6月28日（木）10:00～12:00「アロエせっけん」

参加費：1回2,400円

2日前までのご予約ください。



おおぞらビル

【1F】地域交流スペース「おおぞらイコバ」

会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。

午前：1,000円／午後：1,300円／夜間：1,300円／全日：3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館（エコミューズ）

西淀川公害と環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。

開館日 月曜日と金曜日（10:00～17:00）／要事前電話予約

●いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ



第15回西淀川地区道路沿道環境に関する連絡会
道路行政についての公害患者と国との話し合いの場です。
（2011.12.13）

おおぞら財団への寄附や賛助会費は、寄附金控除として所得から控除されます。

●賛助会員 会員の方には機関紙などをお送りします。

【年会費】個人：年一口5,000円、学生：年一口2,000円、法人・団体：年一口10,000円

●会費・寄附の振込先

*郵便振替口座 00960-9-124893

加入者名：おおぞら財団

*三菱東京UFJ銀行 歌島橋支店
普通 3764689 口座名義：おおぞら財団賛助会員

*りそな銀行 歌島橋支店

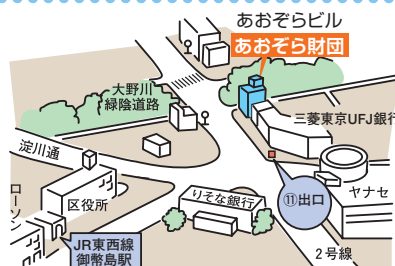
普通 5288117 口座名義：おおぞら財団賛助会員

会員・寄附募集



おおぞら財団とは

1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判（1978～1998）では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・おおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 1001号（TEL）06-6475-8885（FAX）06-6478-5885 電子メール：webmaster@aozora.or.jp http://aozora.or.jp/



●JR東西線御幣島駅⑪出口すぐ
●阪神電車姫島駅より徒歩10分
●JR神戸線塚本駅より徒歩15分